

一 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関すること

評価に関する参考資料：

1文化体験報告書、自治体からの依頼書、新任者に対する手引き、ホームページ等

1 理念・教育目標

1 -1 理念と教育目標

1 -1-1 <理念>

多様な文化背景を持つ留学生たちが共に学び、成長できる環境を提供することを目指し、本学を設立した。「多文化共生」を教育理念の中心に据え、本学卒業後、多文化共生社会の一員として活躍できる人材の育成に力を入れている。地域の先頭に立って多文化共生の地域づくりに寄与するべく、様々な文化圏の生徒が集うメリットを活かし、地域住民の方々との交流活動に積極的に参加している。そして、文化圏、年齢、個々の環境を問わず、日本語を学習したいという共通の目標を持った生徒が互いに切磋琢磨し、より多くの経験ができるよう、多文化のコミュニティを作ること

1 -1-2 <教育目標>

様々な文化圏、目標進路の生徒が切磋琢磨することにより、広い視野を持って、学習に取り組めるようにする。また、教室でのいわゆる「勉強」だけでなく、伝統的な日本文化、最新の流行を体験することにより、社会人として、日本地域で溶け込み、活躍できる人材を育成することを目指す。

[A] 1 -1-3 理念と教育目標が教職員、生徒に周知されている。

1 -2 理念の達成状況

[A] 1 -2-1 地域住民との交流活動に積極的に参加している。

[A] 1 -2-2 多文化共生の地域づくりに寄与している。

1 -3 教育目標の達成状況

[A] 1 -3-1 生徒が広い視野を持って学習に取り組める学習環境を提供している。

[A] 1 -3-2 日本社会のよき理解者として、社会人として日本社会で活躍できる人材育成ができています。

1 -4 社会貢献

[A] 1 -4-1 CSR活動の一環として、地域に在住している外国人生活者に対し、生活者コースを提供している。

1.理念・教育目標についての評価と課題

学生自身がより理念・教育目標の達成に向けて主体的に取り組めるような仕組みや工夫が必要

1.理念・教育目標についての課題に対する改善案と取り組み

学校内イベントや地域の方々とのイベントを通じて、学生をイベントに参加させるのではなく、自主的に学生がイベントに参加するのをサポートしていく。

二 機関運営に関すること

評価に関する参考資料：

2全体ミーティング・専任ミーティング・事務ミーティング議事録、募集要項、ホームページ等

3入国時オリエンテーション資料、災害時の動き、災害後の点検表、保険証書の写し、避難訓練報告書等

4ワークショップ報告書、関連省庁への報告書等

5全体ミーティング議事録、メール履歴、募集要項、ホームページ、提携機関登録票等

2 運営全般

2 -1 組織的な運営

- [A] 2 -1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。
- [A] 2 -1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている。
- [A] 2 -1-3 意志決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能している。
- [A] 2 -1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。
- [A] 2 -1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。

2 -2 納付金

- [A] 2 -2-1 入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されている。
- [A] 2 -2-2 学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。
- [A] 2 -2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。

2 -3 情報の共有化及び発信

- [A] 2 -3-1 外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがある。
- [A] 2 -3-2 内部からの情報発信が効率的に行われている。
- [A] 2 -3-3 入学希望者・学習者及びその利害関係者（経費支弁者等）の理解できる言語で情報提供を行っている。

2.運営全般についての評価と課題

年度を通じて定期的に業務の見直し、運営ができた。

イベントや検討すべき課題があった際には、全体での情報共有の機会をその都度設け、意見を出し合えた。

2.運営全般についての課題に対する改善案と取り組み

今後も業務の見直しを定期的 to 実施し、効率化を進めていく。

3 安全・危機管理

3 -1 健康・衛生

- [A] 3 -1-1 健康、衛生面について指導する態勢を整えている。
- [B] 3 -1-2 対象となる生徒全員が国民健康保険に加入し、併せて、留学生保険にも加入している。
- [A] 3 -1-3 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。
- [A] 3 -1-4 感染症発生時の措置を定めている。

3 -2 危機管理

- [A] 3 -2-1 危機管理態勢が整備されている。
- [A] 3 -2-2 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている。
- [A] 3 -2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めている。
- [A] 3 -2-4 災害等に対する避難訓練を定期的 to 実施している。
- [B] 3 -2-5 防災用品が備蓄されている。

3.安全・危機管理についての評価と課題

災害や緊急事態に備えて、防災用品等をさらに備蓄しておく必要がある。

3.安全・危機管理についての課題に対する改善案と取り組み

留学生保険には加入していないが、自転車保険には全学生に加入させている。

また、防災用品の更新及び備蓄を進めていく。

4 法令の遵守等

4 -1 法令の遵守

- [A] 4 -1-1 法令遵守に関する担当者を特定している。
- [C] 4 -1-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。
- [A] 4 -1-3 個人情報保護のための対策がとられている。
- [A] 4 -1-4 入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。

4.法令の遵守等についての評価と課題

以前にコンプライアンス意識を高める取組を行なってから、開催間隔が空いており、不定期になっている。

4.法令の遵守等についての課題に対する改善案と取り組み

コンプライアンス意識を高めるための取組を1年に1回以上定期的に開催する。

5 生徒募集

5 -1 募集方針

- [A] 5 -1-1 理念・教育目標に沿った生徒の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。
- [A] 5 -1-2 募集定員を定めている。
- [A] 5 -1-3 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。

5 -2 募集活動

- [A] 5 -2-1 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている。
- [A] 5 -2-2 求める生徒像を明示している。
- [A] 5 -2-3 応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示している。
- [A] 5 -2-4 募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている。
- [A] 5 -2-5 海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。
- [A] 5 -2-6 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。

5.生徒募集についての評価と課題

募集計画に基づいて適切に募集活動を行なった。

5.生徒募集についての課題に対する改善案と取り組み

引き続き海外エージェントの綿密に連携を取りながら、募集活動を実施していく。

三 教員及び職員の組織運営に関すること

評価に関する参考資料：

6認定日本語教育機関認定基準、ホームページ、新任者に対する手引き、業務分担表、求人情報、各研修報告書等

6 組織

6 -1 組織態勢

- [A] 6 -1-1 設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「認定日本語教育機関認定基準」で定められた要件に適合している。

- [A] 6 -1-2 事業規模に応じた組織態勢になっている。
- [A] 6 -1-3 受け入れようとする生徒の言語に対応できる組織となっている。

6 -2 教員組織

- [A] 6 -2-1 校長、主任教員及び教員は、「認定日本語教育機関認定基準」で定める要件を備えている。
- [A] 6 -2-2 校長、主任教員、本務等教員及び教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められている。
- [A] 6 -2-3 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示されている。

6 -3 事務組織

- [A] 6 -3-1 生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されている。
- [A] 6 -3-2 生活指導責任者及び入管事務担当者が生徒及び教職員に周知されている。
- [A] 6 -3-3 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。

6 -4 採用と育成

- [A] 6 -4-1 教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている。
- [A] 6 -4-2 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。
- [A] 6 -4-3 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。
- [A] 6 -4-4 教員及び職員の評価を適切に行っている。

6.組織についての評価と課題

担当者及び業務内容を明確化でき、業務を滞りなく実施できた。

6.組織についての課題に対する改善案と取り組み

引き続き職員間での報告・連絡・相談を徹底することで、業務効率の最大化を図る。

四 施設及び設備に関すること

評価に関する参考資料：

7認定日本語教育機関認定基準、校舎図面、備品リスト、通常点検表等

7 教育環境

7 -1 校地、校舎

- [A] 7 -1-1 教育機関として適切な位置環境にある。
- [A] 7 -1-2 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている。
- [A] 7 -1-3 校舎面積は、「認定日本語教育機関認定基準」に適合している。

7 -2 施設、設備

- [A] 7 -2-1 教室、その他の施設は、「認定日本語教育機関認定基準」に適合している。
- [A] 7 -2-2 教室内は、十分な照度があり、換気がなされている。
- [A] 7 -2-3 すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。
- [A] 7 -2-4 授業時間外に自習できる部屋が確保されている。
- [A] 7 -2-5 教育内容及び生徒数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。
- [A] 7 -2-6 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている。
- [A] 7 -2-7 教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されている。
- [A] 7 -2-8 同時に授業を受ける生徒数に応じたトイレが設置されている。

- [A] 7 -2-9 法令上必要な設備等が備えられている。
- [A] 7 -2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。
- [D] 7 -2-11 バリアフリー対策が施されている。

7.教育環境についての評価と課題

Microsoft Teamsアプリを活用し、授業から自宅学習まで幅広くサポートできた。

7.教育環境についての課題に対する改善案と取り組み

バリアフリー設備について、構造上難しい点もあるため、その都度対応していく。

五 日本語教育課程の編成及び実施に関すること

評価に関する参考資料：

8コースカリキュラム、クラスカリキュラム、教員担当表、クラス会議資料、プレースメントテスト及びその結果、入学時オリエンテーション資料、授業記録、自己評価表、復習テスト・ルーブリック及びその結果等

8 教育活動

8 -1 企画

- [A] 8 -1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。
- [A] 8 -1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。
- [A] 8 -1-3 レベル設定に当たっては、国内で又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている。
- [A] 8 -1-4 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。
- [A] 8 -1-5 カリキュラムは、体系的に編成されている。
- [A] 8 -1-6 教育目標に合致した教材が選定されている。
- [B] 8 -1-7 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。
- [A] 8 -1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している。
- [A] 8 -1-9 教員配置が適切になされている。

8 -2 実施

- [A] 8 -2-1 授業開始までに生徒の能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。
- [A] 8 -2-2 教員に対して、担当するクラスの生徒の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
- [A] 8 -2-3 開示されたシラバスによって授業が行われている。
- [A] 8 -2-4 修了の要件が定められ、生徒の理解できる言語によって明示されている。
- [A] 8 -2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用している。
- [A] 8 -2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。
- [A] 8 -2-7 理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。
- [B] 8 -2-8 生徒の自己評価を把握している。
- [A] 8 -2-9 授業や運営に関する生徒からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。
- [A] 8 -2-10 学習内容、時間割と学年暦、成績判定の基準と方法、学習上の留意点、留學生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名が記載された文書を、入学時に生徒に配布している。

8 -3 成績判定

- [A] 8 -3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されている。
- [A] 8 -3-2 成績判定結果を的確に生徒に伝えている。
- [A] 8 -3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。

<p>8.教育活動についての評価と課題</p> <p>今年度から自己評価シートを生徒に配布し、自己評価を行なっている。</p>
<p>8.教育活動についての課題に対する改善案と取り組み</p> <p>自己評価を把握し、それを教育活動に反映させられるよう引き続き努力していく。</p>

六 卒業の認定及び学習の成果に関すること

評価に関する参考資料：

9修了認定会議資料、外部試験結果の写し、生徒の自己評価表、文化体験報告書、卒業生最終進路一覧、進学先からの報告書等

9 教育成果

9 -1 成果の判定

- [A] 9 -1-1 進級及び修了判定が適切に行われている。
- [A] 9 -1-2 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。
- [A] 9 -1-3 生徒による学習及び学習計画に対する自己評価が適宜行われている。
- [A] 9 -1-4 生徒が文化体験や地域活動を通して、日本文化を理解している。

9 -2 卒業生の状況の把握

- [A] 9 -2-1 卒業生の状況を把握するための取組を行っている。
- [A] 9 -2-2 卒業後の進路を把握している。
- [B] 9 -2-3 進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している。

<p>9.教育成果についての評価と課題</p> <p>進学先とは定期的に連絡を取っているため卒業生の状況は把握できている。 就職先とは、学校は直接連絡を取ることが少なく、把握が難しい。</p>
<p>9.教育成果についての課題に対する改善案と取り組み</p> <p>進学した卒業生の状況把握は引き続きしていく。</p>

七 生徒への学習上及び生活上の支援に関すること

評価に関する参考資料：

10業務分担表、入学時オリエンテーション資料、地域イベント係ミーティング資料、災害時の動き、アルバイト面談シート、健康診断結果、進路希望アンケート結果、進路進捗状況シート、HR資料、事務ミーティング議事録、申請取次者講習受講者リスト、出席率80%以下の生徒への指導記録等

10 生徒支援

10 -1 支援態勢

- [A] 10 -1-1 生徒支援計画を策定し、支援態勢が整備されている。
- [A] 10 -1-2 休日及び長期休暇中の生徒対応ができています。

10 -2 日本社会を理解し、適応するための支援

- [A] 10 -2-1 入学直後のオリエンテーションを実施している。
- [A] 10 -2-2 生活に関するオリエンテーションを実施している。
- [A] 10 -2-3 地域交流や地域活動を実施している。

10 -3 学習に関する支援

- [A] 10 -3-1 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われている。
- [X] 10 -3-2 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。
- [A] 10 -3-3 生徒の学習の継続に必要な措置を講じている。

10 -4 生活面に関する支援

- [A] 10 -4-1 住居支援を行っている。
- [A] 10 -4-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。
- [A] 10 -4-3 交通事故等の相談態勢が整備されている。
- [A] 10 -4-4 定期的に健康診断を実施している。
- [A] 10 -4-5 生徒全体の生活状況について定期的に調査している。

10 -5 進路に関する支援

- [A] 10 -5-1 進路指導担当者が特定されている。
- [A] 10 -5-2 生徒の希望する進路を把握している。
- [A] 10 -5-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、生徒が閲覧できる状態にある。
- [A] 10 -5-4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。

10 -6 入国・在留関係に関する指導及び支援

- [A] 10 -6-1 担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っている。
- [A] 10 -6-2 入管法上の留意点について生徒への伝達、指導等を定期的に行っている。
- [A] 10 -6-3 在留に関する生徒の最新情報を正確に把握している。
- [A] 10 -6-4 在留上、問題のある生徒への個別指導を行っている。
- [A] 10 -6-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。

- [B] 10 -6-6 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。

10.生徒支援についての評価と課題

資格外活動の超過就労について、在留期間更新許可申請時に1名の生徒が資格外活動の許可が下りなかった。生徒には日頃から適切な報告をするよう指導しているが徹底されていなかった。

10.生徒支援についての課題に対する改善案と取り組み

資格外活動の超過就労について、定期的に学生に注意を行うとともに、生徒には、適切な報告をするよう徹底して働きかけていく。また、自転車の交通事故が続いた時期があるので、自転車のルール・マナーも、定期的に指導していく。

八 教育活動等の改善を継続的に行う仕組みに関すること

評価に関する参考資料：

11授業見学チェックシート、教員による学期ごとのアンケート結果、生徒による授業評価アンケート結果、講師会資料、勉強会資料、研修報告書、Teamsの外部研修情報等

11 教育活動評価

11 -1 評価

- [A] 11 -1-1 教員の授業評価を定期的実施している。
- [A] 11 -1-2 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。
- [A] 11 -1-3 教員の授業に対する自己評価が定期的実施されている。
- [A] 11 -1-4 教員のカリキュラムや授業進度に対するアンケートが定期的実施されている。
- [A] 11 -1-5 生徒による授業評価を定期的実施している。

11 -2 改善への取り組み

- [A] 11 -2-1 教員の授業評価が教員と共有され、教育能力向上等の取り組みに反映されている。
- [A] 11 -2-2 生徒による授業評価が教員と共有され、教育能力向上等の取り組みに反映されている。
- [A] 11 -2-3 教員の自己評価から、次学期の目標が設定されている。
- [A] 11 -2-4 教員によるアンケートが、教育水準向上等の取り組みに反映されている。
- [A] 11 -2-5 定期的な講師会、勉強会、研修を実施している。
- [A] 11 -2-6 定期的な自己点検評価を行っている。
- [A] 11 -2-7 外部研修の情報を提供している。

11.教育活動評価についての評価と課題

講師会や勉強会等はオンラインも用いており、参加率を上げられている。
しかしながら、講師会に比べて勉強会の参加率が低い。

11.教育活動評価についての課題に対する改善案と取り組み

勉強会の参加率を上げよう努力していく。

九 財務に関すること

評価に関する参考資料：

12収支決済報告書等、提携機関登録票、入学選考面接チェックシート

12 財務

12 -1 財務状況

- [A] 12 -1-1 財務状況は、中長期的に安定している。
- [A] 12 -1-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。
- [A] 12 -1-3 適正な会計監査が実施されている。

12 -2 仲介手数料

- [A] 12 -2-1 海外の募集代理人（エージェント等）に対して生徒が支払った仲介手数料を把握している。
- [C] 12 -2-2 海外の募集代理人（エージェント等）に対して生徒が支払った仲介手数料の適正性を確認している。

12.財務についての評価と課題

学生の入国が安定してきたため、入学生と卒業生の人数の均衡を図ろうとしている。
未だその数の差が大きいため時間がかかっている。

12.財務についての課題に対する改善案と取り組み

入学生と新入生の人数の均衡は数年計画で試算しており、その人数に合わせて募集活動も行なっている。